Market Letter 情報提供資料

メキシコ金融政策（2023年2月）

市場予想を上回る0.5%ポイントの利上げを決定

2023年2月10日

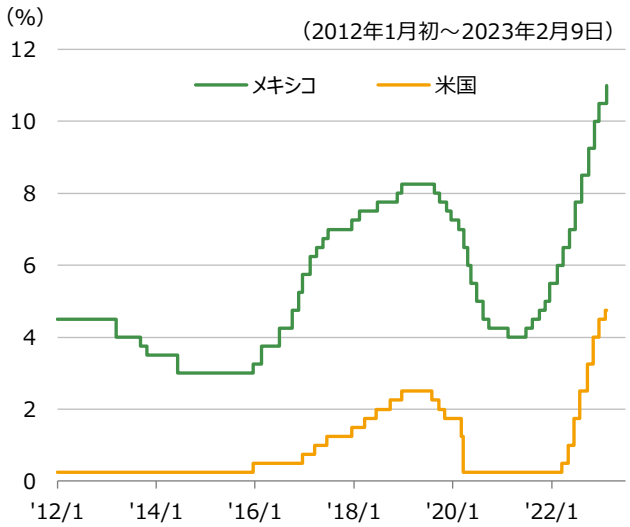
インフレ圧力が想定以上に強いため、政策方針を変更

メキシコ銀行（中央銀行）は2月9日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、全会一致で政策金利を10.5%から11.0%に引き上げることを決定しました。利上げは2021年6月から14会合連続です。

0.5%ポイントの利上げを決定した前回会合の声明文で「次回会合ではまだ利上げを続ける必要があると考えている。その後、更に利上げする必要があるかどうか、また利上げ幅については、実勢に基づいて評価する」と記されていたこともあり、市場では今会合での0.25%ポイントへの利上げ幅縮小や、早期の利上げ停止が見込まれていました。しかし、サービス価格の伸びが再び高まり、9日に発表された1月のコア消費者物価指数（前年同月比）が+8.45%と12月の+8.35%から加速したことで状況が変わったようです。今会合の声明文では「特にコア消費者物価指数の動向を考慮し、依然として複雑なインフレ環境に対処するため、前回会合の利上げ幅を継続する必要があると判断した」と、0.5%ポイントの利上げが決定された背景が説明されています。更に今後の方針を「次回会合では、利上げ幅を縮小することもあり得る」としています。前述した前回会合時点の方針と異なり、利上げを続けることは既定路線のようです。

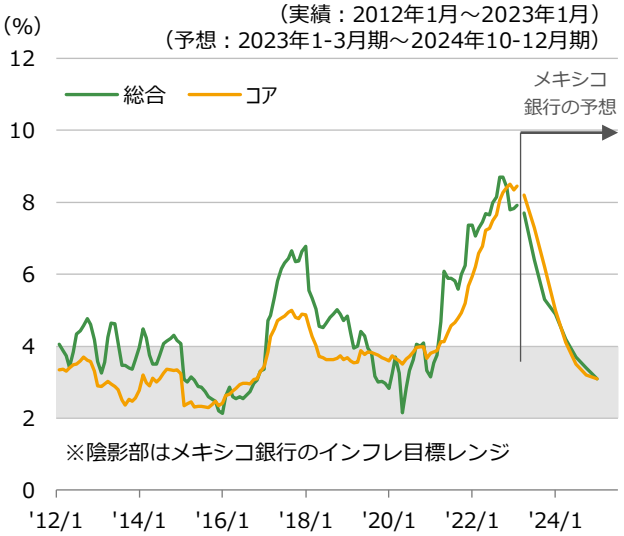
発表を受けてメキシコ・ペソは主要通貨に対して上昇しました。また、米国は既に利上げ幅を0.25%ポイントに縮小しているため、両国の政策金利差は今回の利上げ局面で最大となっています。こうした両国間の大幅な金利差は、今後もメキシコ・ペソの下支え要因になると期待されます。

メキシコと米国の政策金利



※米国はFFレート誘導目標レンジの上限を使用
※いずれも決定日ベース
（出所）ブルームバーグ

メキシコの消費者物価指数



※実績は前年同月比、予想は前年同期比
（出所）メキシコ銀行、ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。